

## 組合員の声に基づく

## 申7号 Part①

## 職場環境改善の実現を求める申し入れ

秋田地本は、働く環境が大きく変化していく中で、組合員からは以前よりも体が休まらないことや、施策は大事だが労働環境も整えて欲しいといった声が多く寄せられ、職場環境改善の声を集約し申7号を申し入れました。黒字転換を達成したのは全社員の努力があってこそであり、環境を整えることでモチベーションの向上へと繋げていくために、8月10日団体交渉を行ってきました。

## 共通

1. 秋田駅羽下乗務員休憩室の旧喫煙室を仮眠スペースとして使用すること。

回答：仮眠スペースとして使用する考えはない。

・活用方についてこれから検討していく段階。秋田運輸区とも調整しながら進めていく。

・仮眠チェアは2019年度に「乗務員の睡眠の質の向上」の観点と、「眠気に起因する事故防止」で導入された。

・各区所に設置されている使用実績はあまりよくない。使用実績を上げたい。

・他支社を見れば詰所にも置いている箇所がある。詰所に設置するのはやぶさかではない。

・使用実績を上げないと秋田支社としても要望できない。

4. 年始に東能代統括センターで停電となったが、補助電源も3時間程度で消え起床装置も使用できなかったため対策を講じること。

回答：各箇所において、異常時の連絡体制等は構築しているところである。

・異常時の連絡体制とは当務駅長や当直が長に連絡し、どういう対応するのかなどの連絡体制。今回の東能代統括センターでは電力などすぐ対応した。体制は取れている。

・停電時に起床装置が使えない事を当直が把握していなかった。管理者に対してはこちらから再度指導する。

・起床装置の老朽取り替えのタイミングで新型の起床装置に変える。停電のことも見据えて、乾電池式で動く最新型。停電になった時に乾電池式に切り替わる。

3. 信号扱い所のエアコンが停まり、冬期は非常に寒いことから改善すること。

回答：予てより状況を把握しており、対応しているところである。

改善

【組合】寒冷地使用の新しいエアコンが付いたが線路側のエアコンの室外機が冬に雪が溜まり、霜取り機能が動作して、エアコンが使用できない。困いをつけられないか。

【会社】ホームセンターなどで対応できるものもある。職場でできることは職場で対応していただきたい。

2. 共用パソコンの起動に時間がかかるため改善すること。  
回答：計画的に取り組んでいるところである。

改善

・老朽取り替えのタイミングで取り替える予定。

・今年度には全職場で取り替える。

3. 休養管理室のシートが劣化し破れているものもあるため回収用ボックスを用意すること。

回答：劣化しているものについては取替えていく。

・社員からの声を受けて管理者が見て取替える。清掃の方が判断して取り替える場合もある。リネンの業者の方からの申告もあり随時取替える。

・横手のように回収用ボックスを置いている箇所もあるが、個人によって判断が異なるため現物を持って当直に申告してもらいたい。

・使いづらいものをそのまま使う気はないので、管理者に申告するように伝えていく。

5. 感染防止対策のため職場内で銅箔テープを貼っているが劣化が激しいため、交換または剥がすこと。

回答：現在、各箇所において対応しているところである。

改善

・剥がれかけていて危険な箇所もあったため剥がしている。

## 横手・大曲統括センター

1. 運輸区の仮眠スペースが一つしかなく、競合するため増設すること。

回答：増設する考えはない。

・Foamsで数を数えていると思うが、実績が足りないため1つになっている。

【組合】庄内統括センターは他区乗務員も使用できる。他職場の社員が使用できないのも実績が上がらない要因。

【会社】職場によってルールが決められている。

2. 運輸の仮眠スペースはエアコンの風があたり寒いため、ブランケットを用意すること。

回答：ブランケットを用意する考えはない。

・もともと畳だった時に安全衛生上の観点から共用のものを処分した。個人個人で準備するのは問題ない。個人で準備するのが最も良い対応。

・エアコンの設置場所は箇所決めていく。建築の基準の中で決めていく。